

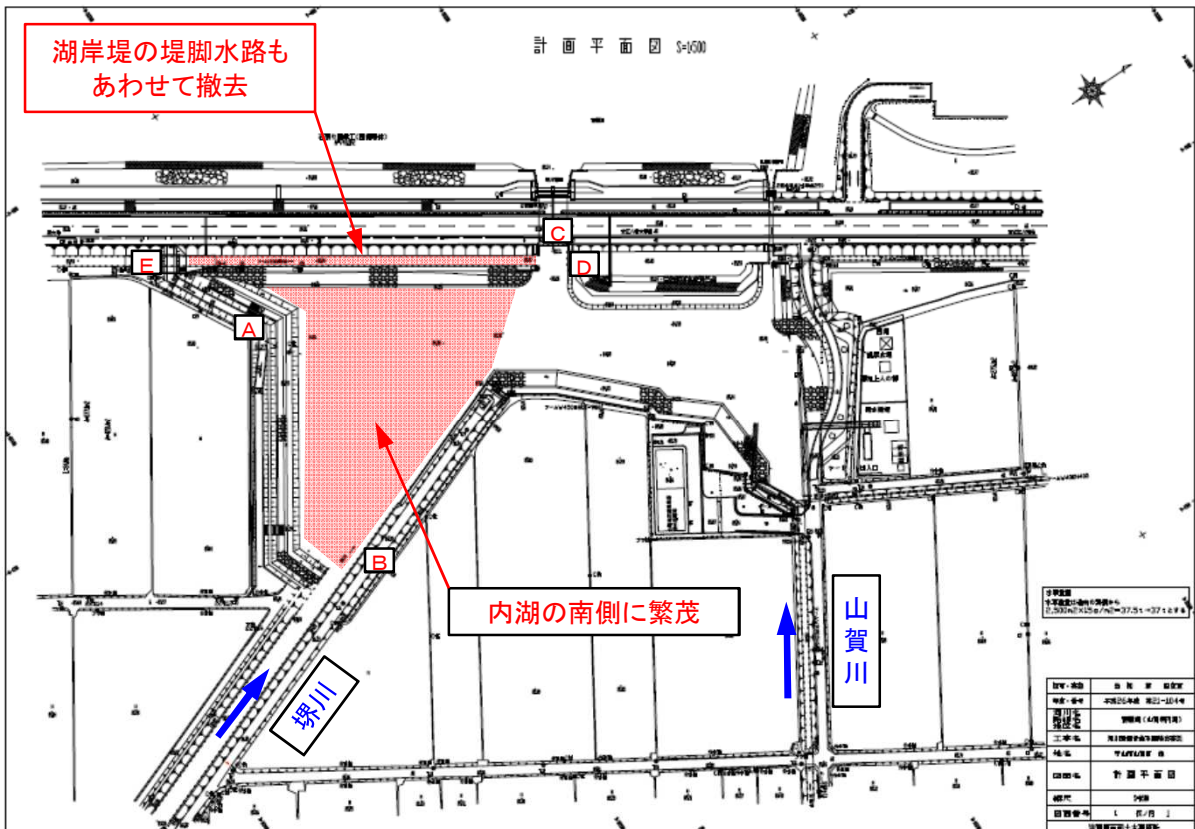
オオバナミズキンバイの機械除去

- 除去した場所 : 山賀堺内湖
- 除去した期間 : H27.2.23～H27.2.28
- 除去方法 : 重機を使用した機械除去
- 除去面積、量 : 約4,000m²、約76t

○位置図



○平面図



除去前(H26.12.2撮影)



A付近から撮影



B付近から撮影



C付近から撮影



D付近から撮影

除去後(H27.3.3撮影)



A付近から撮影



C付近から撮影



E付近から撮影

除去中(H27.2.24撮影)



汚濁防止膜により、ちぎれた水草の流出を防止



船でもオオバナミスキンバイを回収
ちぎれたオオバナミスキンバイも網で回収



中型重機1台と小型重機2台で作業
中型重機はワイヤ- (50m) 付き



長距離(50m以上)になると中型重機を支点にして、
小型重機で引っ張りよせる



ワイヤ-により引っ張ってきたオオバナミスキンバイ



小型重機により揚陸する



50m以下の時は、中型重機のワイヤ-のみで作業



特製クマデとフロート
特製クマデが沈まないようにフロートを付けている



船で特製クマデを運ぶが、水中にもオオハナスキンバイが繁茂しているので、湖底を棒で突いて前進する



目的の場所まできたら、特製クマデをセットする



ワイヤーを撒くと徐々にオオハナスキンバイが近づいてくる



オオハナスキンバイが移動し、水面が見えるようになった



中型重機の「グラップル」という特殊アタッチメントでつかむ
グラップルはグルグル回るので水草を巻き付ける



オオハナスキンバイを引き上げて揚陸する
一度に大量の水草を引き上げることができる



特製の鋼製ザルでちぎれた水草をすくい取る



ダンプに積み込み後、荷台を傾斜させて水を切ってから運搬する